

中齋塾 東京フォーラム
平成 29 年度 第 1 回塾長講話

平成 29 年 1 月 14 日
於 湯島聖堂

おはようございます。新しい年でございますので、今年はどういう年になるのかというところからまいりましょう。

今年は大いなる変革の年、変わる年、そう思っています。前々回、前回は申し上げましたが、安岡干支学は 60 年周期でみる。60 年前はどういう時代だったか。

もう一度繰り返しますと、60 年前、政治の面では日本の岸総理大臣、アメリカのアイゼンハワー大統領が会談をしてアメリカと日本の新しい時代が始まったという共同声明をだした。東海村に原子力の火が初めて灯った。新しい原子力の火が誕生をした。ロケット第一号が成功したのが 60 年前です。これもロケットを宇宙に飛ばしていく技術が誕生したということでしょう。誕生という言葉をみな使っています。それから南極に昭和基地を開設したのが 60 年前です。売春防止法が施行されたのも、大相撲が年に六場所制になったのもこの年であるということで、調べれば調べるほど 60 年前にスタートを切ったということが目白押しです。

60 年経って今は金属疲労を起こして、もう次の新しい仕組みを作らないと、どうにもなくなっているというのが今年。60 年周期でものをみると同時に 1 千年単位でものをみる文明の転換期とみれば、通貨がその役割を終えた。それから思想も役割を終えた。資本主義・社会主義・共産主義そういった言い方も、もう金属疲労を起こしてどうにも先々の人類に貢献しなくなってきたという、とても大きな変わり目の年である。これが 10 年後 20 年後先には、あの年がその幕開けだったなといわれる年になる。今年はその年だと思っています。

その点から考えると、今年は何が起きてくるか。鳥の新しいインフルエンザウィルス。大野さんから詳しくでると思いますけれど、韓国で 3 千羽以上の鳥が処分され日本では 50 万羽以上、中国では人が 20 人亡くなっている。人にうつる状況ではないけれども、いつ起きてもおかしくはない時代になる。以前、厚生労働省が日本人は 64 万人亡くなるよといった。そうするとその対策が目の前であらうと思います。

ちなみに私がまず対策第一弾として、会社に新型鳥インフルエンザウィルスに対するマスク 2 万枚を大野さんの会社にお問い合わせをしました。従業員約 3 千人を大黒柱として考える

と一家4人ぐらいで1万人分ぐらい必要だからマスク2万枚は最低必要であろうということをお願いをしました。そのうち時間が経てば巷にマスクが溢れるようになるから、どういいうマスクが良いのかを後で大野さんにお聞きするのが良いと思います。

昔、黒死病というのがありました。今は病院だけではなく、家庭の中でも、ビニールのような物で部屋の中を無菌状態にして患者を隔離する手法があります。黒死病の時は日本の各家庭の中でそれが行われた。同じことが起きるであろうとっております。その時に用意するよりは早めに用意しておいたほうがよかろうという気がします。日本人というのは極端から極端にいきますから。トイレトペーパーが無くなった時の騒動を考えると、あれも酷かったです、あんなものでは収まらないと思います。

ついこの間、日本で陥没がありましたが一ヶ月ぐらいかかる修復作業が一週間ぐらいできた。日本は素晴らしいという話がでましたが、素晴らしいかもしれないけれども、もしその大きな穴に人が落ちたら一週間後には死んでしまいますよね。すぐ助けにいければ良いけれども深くて広い穴があちこちで起きたら、とてもすぐには助けられない。

今、私は首都直下型の地震が起きた場合に近隣の県からどういう助けが来るか。近隣の市町村がどういうことをするかということの草案を作っています。

私は群馬県に住んでいますから、今年は早々に県知事に会おうと思っております。知事に首都直下型地震が起きた時に群馬県はどういう応援…応援と言うと駄目なんですよ。応援は法律用語だそうです。東京で地震が起きた時に民間が何とかしようということは支援という言葉を使う。応援という言葉を使うと法律用語だから法的に則った動きにならない。

群馬県知事に東京に直下型地震が起きた時に、県はどういう支援を想定しているかを確認しようと思っております。これも何回か申し上げましたけれども、遠野市の市長は市長になったとき遠野市の歴史を調べたら、過去に東日本大震災のような大地震が起こった時に遠野市は補給基地の役目をずっとはたしてきた。学者の話を聞いていると近々起こりそうだということがあるので、遠野市は歴史を鑑みて対応策を練って実行したいと国に相談したら、国はそんなことを考える必要はないと軽くあしらい蹴った。遠野市は困ったということで近隣の市町村と話をし実行部隊を作りました。そして大いなる協力者として自衛隊が出てきますが、自衛隊に頼みにいったら理解してくれ、1億円の予算を組み1万人規模の訓練を行うことができました。それで群馬県。群馬県は自衛隊とどう動くのかを確認しようと思つて申し入れをしたら、自衛隊の人は来週かな、私の所に来てくれるということになりました。行く手間が省けました。東京で地震が起きたときに群馬県の自衛隊は何を想定してどう動くのか。それだけを教えてと申し入れてあるので答えが出てくると思っております。それから警察も同じに群馬県警本部に行ってこようと思いましたが、考えてみたら警察は警察省の指揮下で動きますから群馬県が独自に動くわけがない。事前に確認してみたら首都直下型地震が起きた日には群馬県内にいる警察官は2割東京へ派遣することが、

はっきりしています。実働部隊が東京へ、法的なものでいけば応援に行く。応援部隊は組み込まれていることが分かりました。そうすると近隣の県も調べてみようと思いますが、今考えているのはどこまでやるかなという気持ちでいます。

首都直下型の地震が起きるであるという想定は、大陥没が起きるであろう。大陥没は特定の地域だからそんなでもないでしょうが、都内で大火災が起きた時にどういう逃げ方をするのかということです。

地震の揺れを肌身で感じておく必要があるから家族で防災センターへ行き、いろいろ体験するという訓練も計画し実行していきたい。人間は自分で体験しておけば、より動けるとおもいます。私が体験して一番ひどいと感じたのは、背中を壁につけていたら壁が私の背中をもつごい勢いで押した。そういう実感を味わいました。縦揺れ横揺れ色々あるけれども、壁が私を突き飛ばすとは思わなかった。これは理屈で聞いているものと自分で体験するのでは違いますから、体験されると良いと思う。でも横揺れを体験しても命に別状はないし恐怖感は味わないから、実際の地震に合わせたことをやればよい。

今、氣になっていることが東京に大地震がきたら、政府はどのくらいの人が亡くなると想定しているのか。あとは、どういう条件の人が生き残るのか。どれぐらいの備蓄を用意しておけばよいのか。

榊添さんが都知事の時に『東京防災』という本を都民に配布しました。最初は3日間、備蓄を用意してくださいとありましたが、そのうち1週間になった。最近は本音を聞くと3ヶ月間は用意してくれといえます。東京都民は3ヶ月間自力で生き延びてもらいたい。正面切って聞けばそういう言い方はしないけれども、少なくとも1ヶ月分の食べ物、飲み物は用意した方が良さそうですね。ということで地震・火事・雷・伝染病それは我がことのように思って、準備を今年はしたほうが良いと思っております。

あとは通貨の危機ということですが、お金に関して現金はある程度、何ヵ所かに分散して用意したほうが良いと思いますが、ある日突然、昭和21年2月17日と同じことが起きたらお金はもう使えません。何度も申し上げます昭和21年2月17日は、緊急の金融措置令の発表があった。そうすると銀行は預金凍結。銀行へ行ってもお金は下ろせない。手持ちのお金は使えない。その日からは現在使用されている福沢諭吉の顔のお札は使えていたけれど、今日からは違う人の顔になって、前の顔のお札は受け取りません。用意していたお金はその日から使えなくなる。では何が使えるのか。その準備をしておく必要があるでしょうね。すぐお金は使えないけれども、騒ぎが一段落したらお金はだいたいゴールドかな。大粒ではなく小粒だと思います。ゴールド、宝石は必要でしょう。それから貴重品だと思われるもの。命をつなぐのに必要だと思う物の物々交換。これはどうしても3ヶ月間ぐらいは用意しておいたほうが良いだろうと思っています。

日本だけの話だから昭和21年2月の外貨は、その時は気にしない。なぜ日本だけかと言いますと、日本は戦争に負けた。負けて金儲けを企む人がいて、食べ物の買い占めが始ま

った。お金を持っている人が食べ物をどんどん買い占めて、蔵などを建ててそこに入れるような動きをしたから、農林省が困ってなにか手を打ちたいと思い大蔵省に相談した。大蔵省は政府が国の内外で掻き集めたお金や債務保証をしているもの、それをきれいに片づけるために大蔵省の若手が考えた案が、大金持ち・小金持ち・普通の人から、どんどん税金を取る。そうすれば返せるということで、大金持ちに 90%の富裕税をかけました。前から話しているものです。

谷口代表幹事—今後はどうでしょうか。金（きん）だとか…

3ヶ月と言ったのは、調べたら最初はゴールドが使えました。しかしちょっと落ちついてくると偽物が出回った。だからゴールドが使えるのも長い期間ではなく、ちょっとした期間です。しかし一段落したらまた使えると思います。ということで用意しておくものは、物々交換で自分のところに余っていて、人が欲しいなと思う物を用意しておけば良いのではと思っています。衣食住ということです。

大いなる変革でお金に関するもので

お金をたくさん持っている人の場合は、今のうちに日本の国が潰れてもその会社は生き延びるという会社。例えばジェット機をつくっているホンダがあります。日本の国が潰れたって平気な顔して生き延びるでしょう。トヨタだってトランプさんに言われた時はジタバタしていたけれども平気でしょうね。日本の名前を冠に乗せている企業けれども、中を開けてみたら日本で稼ぐのではなくて他の国で稼いでいる会社。日本が潰れてもどうってことないとうそぶいていられる企業が日本の中には結構ありますね。そういうことで現金は株式やゴールド、不動産に変えておく。その状況その規模によって中身を少し変えれば良いと思いますが、昔から三分割といいます。そういうような動きを今年はしたほうが良いと思っています。したほうが良いなんです、まだ早いと思う人はゆっくりやればよろしいと思います。別に急ぐことはない。ただ、いつ何時くるか分からないから、そのための動きを多少はしたほうが良いなと思います。

この間話したけれども、日銀の支店長とお喋りしていた時に群馬に大金庫室があると話していました。そこから先は噂です。でもデマかもしれませんが、もうすでに日本国は新しいお札が刷られている、しっかり準備されているという話です。群馬だけではなく何か所かあるようです。ということですから国家は着々と準備をしております。言わないだけ。国は嘘をつき、隠します。

最近の新聞を見たら、30年経って中曽根さんがロン・ヤス関係を築いた時は、実はこういうこと言ったと発表されています。30年経って公開されても、どうしようもないけれど、国は同じことを繰り返すだろうと思っています。知らん顔して何かやっている。原子力だ

って、佐藤栄作さんが沖縄の核抜き本土並みの沖縄返還と打ち上げた。その背景にはアメリカが中国の毛沢東に会って、あなたの言うとおりにしますから日本をどうして欲しいですかとアメリカが中国に打診をした。でも毛沢東はもう死ぬ寸前だったので、そんな難しいことは良く分からないからあとにしましょうという類の話が、これも30年経過し公開されています。毛沢東がそのとき元氣涸渾だったら今頃日本は三分割になっていた可能性もあります。毛沢東がよれよれだったから日本は現状で進んでいる。そういう点から考えて佐藤栄作さんが沖縄の本土返還を果たした裏には中国の毛沢東が死に近づいていたからという事実があった。さてそうすると講談のような話になってくるわけですが、全部これは外交文書公開というところからきたものです。

本土返還、そのとき核抜きで非核三原則というものもスタートさせましたでしょう。そのあとで佐藤栄作さんはアメリカに対して日本は核の準備・開発をしたいと再三申し入れますが、アメリカは核を持たせるわけにはいかんと断った。今度はヨーロッパのある国に打診してそれも断られた。まわりから止めたほうが良いと言われたので、日本は非核三原則というもっともらしいことをでっち上げて、現在まで守り続けている状況を30年後に発表されているわけですし、どうしてメディアは伝えないのかね。新聞関係に携わっている人は周知の事実だと私は思っています。周知の事実を言わない。こういう話をしたのは、国民は知らされていない。知ろうともしない。これは木内孝さんの好きな科白です。

日本国民は知らされてもないから知らないし、知ろうとしない。自ら探さない、調べない。だから垂れ流しの記者クラブ発表を大本営発表のようなもので、素直に聞いているだけです。自分で調べなければいけないと思ってください。

論語の視点

先ほど小池劇場と言ったので、小池劇場のような感じでいきましょうか。

<憲問 第十四>

【二七】子曰く、其の位に在らざれば、其の政を謀らず。

小池さんが都知事にいなければ「其の政を謀らず」東京都のことについて喋らなかつたらうとみればいいです。

小池劇場で見れば、都知事になったので言うこと言うこと。メディアのはしくれでございましたからなんて言ったりね。いったい宣伝活動費はいくらになるんだろうと思う。年がら年中メディアに乗るようにしているでしょう。私みたいな人間でも小池さん着ている服が毎回違うと分かります。人様の着る物が頭の中に入るぐらいメディアは垂れ流しにしている。首から上は同じだけど、色が違うと摺り込まれてしまうから小池劇場というのは面白い。

「其の政を謀らず」は、そのポストに就いたら政治活動をおおいにこなさいと読むと、そのような人達はいっぱいいますね。

【二八】曾子^{そうしゆ}曰く、君子^{くんし}は思うこと^{おも}其の位^{そのくらゐ}を出^いでず。

自分のやるべきことをやればいい。自分の職分以外のことには口出しをしない。小池劇場で見ると小池さんは自分の職分以外なことにちょっとずつ口を出すからメディアも取り上げやすいし楽しい。森さんとのバトルなんか実に面白い。森さんをそのポジションで見ると、自分で勢力拡大して蜃気楼をこしらえ、それで自分に目が向くようにしている。以前、小池さんが総理大臣の候補者で手を挙げた時に、森さんに逆らって手を挙げたから、その時から確執が始まっている。お互いに喧嘩しているわけです。

そうやってここを見ると「君子は思うこと其の位を出でず」そうだな、森さんは君子ではないから、言いたいことを言っているとか。小池さんは君子のような顔をしながらそんなこと関係ないと、平気で蹴飛ばしている。

【二九】子曰く、君子^{しゆ}は其の言^{くんし}の其の行^{そのげん}に過ぎんこと^{そのおこない}を恥^すず。

大言壮語しなさんなということですね。これも学者によって、いろいろ別れます。宇野先生流に読むと「君子は其の言を恥じて其の行を過ぐす。行をすぐる」ちょっと読み方を変えるだけで意味が変わってきますが、でも根っこは大言壮語しなさんな。余計なこと言いなさんな、自分の実力以上のことを喋りなさんな。政治家は自分の実力以上のことを喋るから当選する。自分の実力の中で収めながらやったら当選なんかするわけない。

4月は太田市の市長選です。三つ巴ですけどね。私、3人の候補者全員と関係があるから三者三様の市長選になりそうです。

「君子は其の言の其の行に過ぎんことを恥ず」恥ずかしいことばかりやりすぎている。そうすると今、小池劇場で何幕目になるか分からないけれども、自民党はなぜ自民党に造反した人を差別待遇しているのかなと思う。小池さんはお咎めなしで、都議会の議員さんたちは首切ったでしょう。小池さんにとっては、大義名分ができたので、これはしてやったりでしょう。あの人たちを救済するために私はやむなく一所懸命に正義の味方で変えるのですと。それで自民党に私お咎めなしと言われたけれども、お咎めなしじゃなくて、私はちゃんと謹慎して進退伺いやっているから、切るも切らぬもそっちだと下駄を預けている。したたかですね。公明党は自民党と縁を切って小池さんにすり寄ったから上手ですね。だから大いなる変革というのは、小池さんで眺めると実に面白い。

今日の論語は小池劇場の解説でそのまま使えるということで、今日の論語は小池劇場で終わります。

『木内信胤語録』出版しました

木内信胤先生の本ができました。東京駅のそばに丸善という本屋があります。ぜひ行って買ってください。買ったならば読んでみて、まわりにも薦めて下さい。

それで本の背表紙に岩崎弥太郎・福沢諭吉その不思議な関係とあります。どういう不思議な関係だろうと思って手を出してくれたら、意味はすぐに分かります。

隠れた巨人・木内信胤は岩崎弥太郎の孫、妻は福沢諭吉の孫ということです。これにピリピリときたのが丸善の担当者でした。「うちは丸の内村なので」と言います。まだ八重洲ブックセンターには置いてありません。明德出版社から文句を言わせたら「もうちょっとお待ちください」と言われました。1月15日発行だから、明日は八重洲ブックセンターに並ぶでしょう。八重洲ブックセンターは実に動きが鈍い。ところが丸善は「うちは丸の内村ですから一所懸命、丸の内村の住民にアピールしますよ」と。丸の内村というのは岩崎弥之助が買い占めたので、だからあそこに住んでいる人は丸の内村というのですね。脱線のついで、前にも話した国連でノーベル平和賞をもらった人達が日本に来まして、三菱の迎賓館で迎えた。私も呼ばれて行きましたが、その中で色々ディスカッションをしている中で、ひどい言い方をするなと思ってまだ印象に残っているものが、三菱のどこの会社か覚えてないけれども「私共の総売上げは日本のGDPの何%にあたります」とノーベル平和賞をもらった人達に滔々と説明している。そんな馬鹿なと思い色々聞いていたら丸の内村の大家なので、自分たちが土地・建物を貸している人達の総売上げを足すとこれだけになる。自分の企業グループの売上げならいざ知らず、店子の売上げを計算する者があるかと思えます。

イオンと同じ手法ですが、イオンモールは土地を借りて、そこに色々な店子を入れて、その店子の売上げはイオンがしっかり吸い上げてカウントしてから返すというやり方をします。実際イオンは自分の売上げに入れてしまうから嘘はついていない。三菱は嘘ついているんじゃないかと思った。それでも丸の内村の住人の意識というのは、そういうことで色濃いのでしょうかね。ですから丸善に行かれたら3階の思想コーナーに本はあります。

テーマ

<原点を確認しよう>

【紹介書籍】

『私の人生観・歴史観』 渡部昇一著 PHP 研究所

今日のテーマは「原点を確認しよう」ですので、紹介書籍は『私の人生観・歴史観』か『税高くして国滅ぶ』どっちを持ってこようかと思ったのですが、来週税務署が私のところに来ますので、あまり税務署ばかり叩いてもいけないと思って今回はこちらにしました。

税務署が終わった後で税金や税務署のことを叩こうと思って今はちょっと封印しておいて、今回の本は、人生観を考えるとときに日本人のものの考え方が形作られたのはこういうところ、聖徳太子の影響が日本にはどう出ているかということです。

日本人を考えるとときに原点を考えてみましょう。原点も色々な原点があるけれども聖徳太子からみようということでこれを持ってきました。

今年は自分で「自分の原点は何か」を考えてみると良いと思います。私自身のことで申し上げますと、今はこういうことをしています。前から言っている原点と人生の棚卸し。

今、人生の棚卸しを明確な判断基準でまわりを整理しています。自分が死ぬ時にどうしても後に残したいと思うもの以外は処分しようと思っています。例えば色々な資料など沢山ありますけれども、これは私が死ぬとき棺桶に入れて欲しいか、入れて欲しくないか。

この間シムックスで経営指導者研修会があって、そこには若い役員たちが集まるからこういう話をしました。私が死んでどうしても残しておきたいものが、よく考えたら一つだけあった。それは仕組みである。この会社はこういう教育体系でいかなければならないというその仕組みを作りたい、これだけは残しておきたい。仕組みというのは1年2年では分からないけれど10年20年ぐらいの単位でみると中身がだいぶ変わってくるから、仕組みだけは同じように残す。

1千年企業で営々と続いていく仕組みが日本にはあるから、その仕組みを残したい。中身はその時の役員たちが考えてくれという話をしました。そういう感覚で会社も個人も家庭も見直しをしています。要は死んだ後で棺桶に入れたい。それ以外は処分。だけど後に残る人はみんな、おかしなことをします。…余分ですね。

それから原点を考える時にそうやっていくと、人様とのお付き合いはどうやって減らしていけばよいかということを考えています。

・手を挙げなくてもいいですけど、遺言状を書いておられますか？

若いといっても、いつどうなるか分からないから書いておいたほうが良いですよ。年配の方に向かって言うと差し障りがあるから、若い人に向かって言います。

遺言状を書くということは何を残すか。残すものは何があるのかと、考えるひとつのきっかけになるから良いです。

もうひとつ気にしているのは、自分が認知症になった場合はどうかということ。自分が認知症になってそれが自覚できる時はどういうふうに自覚しているか。それをよく考えておこうと思います。

身のまわりで見直しをすると、母親との会話を思い出します。母親は97歳で亡くなりましたけれども、亡くなる1年前ぐらいからは認知症も進んでいて、母親は「私が段々壊れているみたい。昨日のことをどうやっても思い出せない。思い出せないというのはどこか

おかしい」と。母には「歳をとったら誰でも起きることで加齢だよ」と。90歳過ぎて昨日のことを全部覚えているお年寄りがどこにいるのみたいな会話をしたことを覚えています。でも母親は、普通は昨日のことを少しは覚えているものだけど、昨日のことを覚えていないということはおかしいと、ずっと言っていましたから、そういう確認の仕方も母親はしていたなと思います。

それと前に何度も話していますが、香りが分からなくなったらもう現役引退と言われた荒井先生。安岡正篤記念館の所長さんですが、「私は本当にもう香りが分からない。キンモクセイの匂いが分からない」と言いながら、まだ現役を続けていますから、早く引退したほうが良いですよという、後がねえとって止まっている。そんなことでございますから、認知症は自分で自覚がでたら3ヶ月ぐらいで段取りはしておいたほうが良いなと思っています。

あとは、本当にやりたいことは何があるか。それは個々人で考えてみましょう。

恒例の質問

・今年まだ始まったばかりですけども、お聞きします。今年に入ってからずっと良い日が続いている。

去年の終わりごろは、今年は比較的、良い日が続いたなと聞いたのですが、今回は違いますよ。「ずっと」ということは毎日ということですよ。

・今年に入って毎日、嘘はつかないできた。

・今年に入って毎日有難うを言い続けている人。

思ったより多くの方がいます。これは凄いな。じゃあもうちょっと質問をします。

・今年に入って毎日有難うと言われ続けている人。

ああ沢山いますね。この会は優秀だな。

・今年に入って毎日、健康法を続けている人、実践している人。

手を挙げなかった方は寝る時に呼吸法をやれば良いと思います。

・深呼吸をする時、まず息を吸った方は？

数人おられる。これは間違いです。最初にちょっとでも息を出す。出すのが先です。例えば、美味しいものでも食べに行こうと友達に言う。それでご馳走してよと言う時に、何でも良いのですが、さっき私たい焼き食べたので、これ美味しいよとか言って友達にあげ

る。先にあげる。海老で鯛を釣ればいいんです。あげてから、前から食べたいお店があるけれどもと話をふったら、たい焼きを貰ったからしょうがないなど。先にあげると向こうは負い目を感じるから、なにかお返ししなきゃとね。呼吸も同じで、先に息を吸うのではなく、先に出す。美味しい物を食べるのだから、お腹にあるものを先に出して、からっぽにしてからだ美味しく食べられる。ところが満腹の時にたくさん食べるというわけにはいかない。

呼吸法は最初に、ちょっとでもいいから息を吐く。あとは滝のイメージで息を吸う。あとはゆっくり吐いていく。肩がこっている人は呼吸法と一緒にやると良いのですが、上げていた肩をふっと全部一気に落とす。これがリラックスです。

・昨夜寝るときに明日以降のことを過去形でイメージできた方。

・今年に入ってから今日まで、我ながら自分磨きをしている。

はい結構でございます。自分磨きをしている人、これは周りが認める必要がないですから、自分で勝手に言うだけです。自分でちょっとでも磨いたら、私は自分で磨いていると思えば自信が広がってくる。

猪瀬理事長が最初に学びについて言いましたが、あれは良い科白ですね。学ぶということについては三学戒があります。

佐藤一斎「少にして学べば、則ち壯にして為すことあり。壯にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば則ち死して朽ちず」という言葉があります。これは現地に行くと三学戒は碑文になっています。岐阜に行った時は足を延ばしてみると良いと思います。

学びを始めてそれなりに自分が納得する。納得するというのは身体で感じる。身につくと表情が変わってきますね。

ある程度歳を重ねると、心を磨くと同時に皮膚そのものも何かお手入れをする、と良いそうですね。だから両方やると良いと思っています。

学んだものは身についたら、顔つきが変わって、その次は行動が変わってくる。これはそのとおりだと思います。ぜひ学びは深めていただきたい。

(終了の鐘を司会者が鳴らした)

今回は邪念が入ったね。もう一回やりますか。…最初がよかったねということで、今日は心の澄み切った人の鐘の音はこれほど良いのか、三回やって一回成功しましたので結構です。今年もどうぞ宜しくお願い致します。有難うございました。